

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3940	3.利用用途別分類	集会施設								
2.施設名	内海やっこ荘	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	内海2169-1	15.設置根拠法令	地方自治法第244号第1項								
6.バス停	内海(270m)	16.設置条例	宮崎市内海やっこ荘条例								
7.開設年月日	平成02年7月1日	17.市の計画	施設のあり方を検討中								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(青島地区社会福祉協議会) (令和5年1月16日から直営)	18. 外観									
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和05年1月15日										
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設である。高齢者の健康増進や外出促進、介護予防、生きがいを支えるため、健康相談や趣味活動に気軽に参加できる交流の場を提供している。		19. 内部								
13.主な利用者	地元の高齢者及び一般市民	20.避難所の指定(標高)		— 2.00 m							
14.利用者駐車可能台数	12台	21.投票所の指定		無							
22. 土地情報	土地面積	2,246.51 m ²				24.建物情報	総延床面積	293.78 m ²			
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	37871千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	1990年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	1,957	98.3	1,990	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	188	87.0	216	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	10	113.0	9	—	未利用スペース	59 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,534	74.6	2,056	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	784	60.0	1,306	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	3,535	108.9	3,247	—		指定管理者の支出計⑨	2,863	88.2	3,247	—
	指定管理料⑥	3,535	108.9	3,247	—		施設のコスト	361	51.8	697	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	469	156.3	300	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	2,033	90.4	2,250	—		
収入合計⑦	3,535	108.9	3,247	—	支出合計⑩	4,397	82.9	5,303	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	639	55.0	1,161	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,069	95.6	5,303	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	672	—	0	—	市 負担割合(%) (⑪÷⑩)	115	115.3	100	—		
32.施設所管課	福祉総務課				33.施設主管課	福祉総務課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	3940	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	内海やっこ荘	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		48.2		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.2		
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	31.000 年	49.1	29.900 年
		劣化度数(棟平均)	6.000 件	27.5	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件		
		評価値	48.2		
② 供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	10.000 人	41.3	58.000 人
		稼働率		%	%
		建物1㎡当たりの利用量率	0.035 人	44.5	0.052 人
		建物1㎡当たりの利用量率		台	台
土地1㎡当たりの利用量率		人	人		
市負担額千円当たりの利用量	0.386	44.3	0.696		
		評価値	43.4		
③ 財務評価	市負担割合の評価がきわめて低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	115.280 %	22.2	100.419 %
		市負担額(ソフト)前年度比	107.000 %	48.1	105.336 %
		建物1㎡当たりの市負担額	17.254 千円	52.1	20.140 千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円
利用量当たりの市負担額	2.590 千円	49.6	2.507 千円		
		評価値	43.0		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	3940	利用用途別分類 集会施設
施設名	内海やっこ荘	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	平成2年に設置された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、市最南部に位置する小規模な公共施設であり、交通の利便性があまり良くないため供給評価も低い。受益者負担がないことから財務評価も低くなっている指標がある。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数【原因】平成2年に設置された古い施設のため。 ②【評価指標】劣化度数【原因】老朽化による経年劣化が多数あるため。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率【原因】比較的小規模であるため。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】比較的小規模であるため。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】比較的小規模であるため。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市負担割合が100%で、受益者負担がないため。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比【原因】令和3年度から5年間の指定管理において、指定管理料が増えたため。 ③【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】受益者負担がないため。
5	定性的な要素の分 析(総括)	利用用途は集会施設となっているが、高齢者の生きがい支援の役割を担っている。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	内海小学校、宮崎市消防団青島分団第4部消防団車庫
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道220号線から市道内海1号線を400m程度西進した位置にあり、付近にバス停留所が設置されているが、宮崎市最南部にある。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	3940	利用用途別分類	集会施設
施設名	内海やっこ荘	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 47ページ参照)	
16	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価とも「継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討。」とする。今後、施設の利用状況や周辺施設の状況等を勘案し、関係部署とも連携しながら、あり方検討を進めていく。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
18	建物の評価の理由	築年数が32年を超過し、老朽化による経年劣化が見られることや、近隣に類似の設備や機能を有する内海自治公民館があること等を勘案し、今後の施設のあり方について検討を行うこととする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	施設のあり方検討を行うことを踏まえ、備品や設備等の修繕・更新については必要最低限にとどめることとする。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
21	機能の評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設の利用者数が大幅に減少している。また、受益者負担がないため市負担割合が高く財務評価が低い状況にあることも踏まえ、今後の施設のあり方について検討を行うこととする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	施設のあり方検討を行うなかで、費用対効果の検証を行う。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90680	3.利用用途別分類	庁舎等施設							
2.施設名	青島地域総合センター(青島地域センター)	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	青島西二丁目1番地	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停		16.設置条例	宮崎市の域自治区の設置等に関する条例							
7.開設年月日	平成29年3月27日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観								
9.指定管理期間										
10.用途地域	近隣商業地域									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	青島地域の市民に行政・防災サービスを提供する拠点として設置している。平成29年に地域センターのほか地区交流センター、保育所の機能も合わせて複合化施設として整備している。地域センターとしては、16人の職員が勤務している。		19. 内部							
13.主な利用者	市民及び市職員	20.避難所の指定(標高)	— 14.00 m							
14.利用者駐車可能台数	63台	21.投票所の指定	有							
22. 土地情報	土地面積	5,499.30 m ²		24. 建物情報	総延床面積	1,465.97 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	530472千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート造				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	2017年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		—	前年比%	—	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²				
	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	4	100.0	4	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	75,747	100.1	75,662	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	6,147	101.4	6,062	—
	その他③	4	100.0	4	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	69,600	100.0	69,600	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	4	100.0	4	—	支出合計⑩	75,747	100.1	75,662	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	422	159.2	265	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	4	100.0	4	—	31. 市 負担額⑪ (⑧-①+⑥)	75,743	100.1	75,658	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	管財課		33.施設主管課	管財課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90680	3.利用用途別分類	庁舎等施設			
2.施設名	青島地域総合センター(青島地域センター)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		58.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		46.2			
① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	5.000 年	69.7	29.900 年	
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件	
		評価値	58.3			
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		建物1㎡当たりの利用量率		人	人	
		建物1㎡当たりの利用量率		台	台	
		土地1㎡当たりの利用量率		人	人	
		市負担額千円当たりの利用量				
				評価値	#DIV/0!	
③ 財務評価	指標の結果	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.990 %	44.0	95.071 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900 %	48.4	98.974 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	千円		千円	
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円	
		利用量当たりの市負担額	千円		千円	
		評価値	46.2			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90680	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	青島地域総合センター(青島地域センター)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	青島地域センターは平成29年建築である。青島地域における宮崎市の公共サービスを提供する為に必要な施設であり重要な建物である。そのような特性から利益を求めるには限界があると分析する。	
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】クレーム点数【原因】混雑時の駐車場不足が原因と分析する。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】公民館や体育施設などとは設置目的が異なり、市行政サービスの提供のため市負担額の評価の割合が低くなっている。	
5	定性的な要素の分析(総括)	青島地域センターは青島地区の必要な行政サービスを提供している。その他の地域センターも各地区の必要な行政サービスを提供している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市青島パークゴルフ場、青島シーガル街区公園、宮崎市南消防署出張所、青島歴史文化の広場、松添街区公園、宮崎市青島駅西口駐車場、青島水防倉庫、宮崎市消防団青島分団2部消防団車庫、青島参道南広場	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	防災支援拠点として位置付けられており、災害時には地域の防災拠点となる。	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道220号線沿線に位置し、バス停及び青島駅があるが便数が少なく交通事情は良好とはいえない。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建替え時期】2090年代 【建替えの事業費(概算)】5.6億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	平成28年度に地震災害時の津波対策で安全な内陸側に複合施設が完成し、平成29年度から旧青島地域センターから移転している	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90680	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	青島地域総合センター(青島地域センター)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	青島地域センターは平成29年度に安全な内陸側に移転し、大規模な改修は予定していないため建物の評価は、『継続』とする。また、機能の評価は行政サービス継続のため『継続』とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	青島地域センターは、地震災害時の津波対策として平成29年度から移転しているため、現在の建物は継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	庁舎の長寿命化をすすめる中で、屋上防水や外壁改修、空調設備、電気設備などの標準耐用年数以上の使用期間を設定し、改修・更新工事を行う場合は優先順位の検討を行い、必要な工事を関係課と協議しながら工事を行う。また、今後庁舎をどの程度使用するのかを見極めた改修工事の計画を策定していく。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市行政サービスの地域拠点である青島地域複合センターは庁舎の長寿命化をすすめながら継続利用し、財産の活用を進めていく。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	適正な執務空間の確保に努めながら、庁舎内の無駄な電気を使用しないように更なる節電に努めていく計画である。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90670	3.利用用途別分類	集会施設								
2.施設名	青島地域総合センター(宮崎市青島地区交流センター)	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	青島西二丁目1番地	15.設置根拠法令	地方自治法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市交流センター条例								
7.開設年月日	平成29年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	近隣商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、平成29年度に複合施設である青島地域総合センター内に設置された。地域の生涯学習の場及び地域まちづくりや災害時の拠点として活用されている。新しい施設ではあるが、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理に取り組む。		19. 内部								
13.主な利用者	地域住民	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 14.00 m								
14.利用者駐車可能台数	63台	21.投票所の指定	有								
22. 土地情報	土地面積	5,499.30 m ²		24. 建物情報	総延床面積	897.54 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	324781千円 (－)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート造					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	2017年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	11,711	111.8	10,474	－	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	226	100.0	226	－	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	52	111.9	46	－	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	95	91.3	104	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	16,799	103.0	16,304	－
	使用料(減免後)②	43	79.6	54	－		施設のコスト	6,685	107.4	6,222	－
	その他③	52	104.0	50	－		事業のコスト	614	105.5	582	－
	《参考》 使用料減免額④	1,455	103.3	1,409	－		人に係るコスト	9,500	100.0	9,500	－
	指定管理者の収入計⑤	0	－	0	－		指定管理者の支出計⑨	0	－	0	－
	指定管理料⑥	0	－	0	－		施設のコスト	0	－	0	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	0	－	0	－
	自主事業収入	0	－	0	－		自主事業のコスト	0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	0	－	0	－		
収入合計⑦	95	91.3	104	－	支出合計⑩	16,799	103.0	16,304	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	97	100.9	96	－	28.工事請負費・修繕費	128	185.5	69	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	95	91.3	104	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	16,704	103.1	16,200	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	－	0	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	100.1	99	－		
32.施設所管課	地域コミュニティ課		33.施設主管課	地域コミュニティ課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90670	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	青島地域総合センター(宮崎市青島地区交流センター)	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		58.3		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.4		
① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	5.000 年	69.7	29.900 年
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値	58.3		
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	52.000 人	48.9	58.000 人
		稼働率	24.900 %	49.6	25.400 %
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.701	50.1	0.696
		評価値	49.5		
③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.430 %	51.9	100.419 %
		市負担額(ソフト)前年度比	102.800 %	52.9	105.336 %
		建物1㎡当たりの市負担額			
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	1.426 千円	54.9	2.507 千円
		評価値	53.2		
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)	

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90670	利用用途別分類 集会施設
施設名	青島地域総合センター(宮崎市青島地区交流センター)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が減少し、供給評価が平均点未満となっている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が減少したため。 ②【評価指標】稼働率 【原因】新型コロナウイルス感染症の影響もあり、年間利用コマ数が減少したため。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
5	定性的な要素の分析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、公立公民館等を設置している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	青島地域総合センター(青島地域センター)、青島地域総合センター(青島保育所)、宮崎市青島パークゴルフ場、青島シーガル街区公園、青島歴史文化の広場、宮崎市南消防署青島出張所、松添街区公園、宮崎市青島ビーチセンター、青島参道南広場、宮崎市消防団青島分団第2部消防団車庫、青島水防倉庫、宮崎市青島駅西口駐車場
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海やっこ荘
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道220号線を降りると、すぐに青島地域総合センターの建物があり、その中に当該施設が入っている。施設から約400mの場所にJR青島駅があり、交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2090年代 【建て替えの事業費(概算)】4億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90670	利用用途別分類	集会施設
施設名	青島地域総合センター(宮崎市青島地区交流センター)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物・機能の評価はともに「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づき適切な維持・管理に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、市負担額を削減するため、使用料や減免対象の見直しの検討に取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数、劣化度の評価が平均点以上であり、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づく適切な維持管理がなされているため、建物の評価は継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	定期的かつ計画的に修繕を行い、施設の長寿命化に取り組む。また、技術主管課の指導を仰ぎ、不具合箇所の早期発見に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり稼働率の評価は低いですが、市負担割合が平均点以上であり、生涯学習及び地域活動の拠点としての役割に加え、避難所としての機能も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	受益者負担の考えのもと、施設の使用料や減免対象の見直しの検討に取り組む。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90660	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	青島地域総合センター(青島保育所)	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	青島西二丁目1番地	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市保育所条例								
7.開設年月日	平成29年3月27日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間			19. 内部			写真					
10.用途地域	近隣商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	南海トラフ巨大地震が発生した場合、青島地域センターや青島公民館、青島児童センターなどの青島地域の主な公共施設は津波浸水想定区域内に立地しており、津波により多大な被害を受け、拠点として機能しない恐れがあるため、災害発生時等の活動拠点の確保に加え、複合化が経費の抑制、利便性の向上に有効と判断し、H29.3月に保育所を含め複合型の防災施設として整備した。										
13.主な利用者	保護者の就労等の事由により保育に欠ける0歳から小学校入学前までの乳幼児		20.避難所の指定(標高)	— 14.00 m							
14.利用者駐車可能台数	6台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	5,499.30 m ²				24.建物情報	総延床面積	574.45 m ²			
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	207868千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート造				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	2017年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	実人員	274	98.2	279	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館月数	12	100.0	12	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	1	100.0	1	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	2,633	132.6	1,986	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	68,926	101.1	68,166	—
	使用料(減免後)②	2,633	132.6	1,986	—		施設のコスト	17,708	104.0	17,029	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	4,318	101.9	4,237	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	46,900	100.0	46,900	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	2,633	132.6	1,986	—	支出合計⑩	68,926	101.1	68,166	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	750	129.5	579	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,633	132.6	1,986	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	66,293	100.2	66,180	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	96	99.1	97	—		
32.施設所管課	保育幼稚園課				33.施設主管課	保育幼稚園課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90660	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	青島地域総合センター(青島保育所)	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C				
	品質評価の評価(偏差値)		56.3				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		37.1				
① 品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	5.000	年	69.7	29.900	年
		劣化度数(棟平均)	0.000	件	57.5	1.500	件
		耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
		クレーム点数	4.000	点	44.8	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	55.8	0.700	件
		評価値			56.3		
② 供給評価	利用量率の評価がかなり低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		月あたり人数	23.000	人	34.2	52.000	人
		定員充足率	50.700	%	32.3	87.000	%
		建物1㎡当たりの利用量率		人			人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	0.004		31.7	0.007	
		評価値			32.7		
③ 財務評価	市負担割合の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		市負担割合	96.180	%	39.4	94.418	%
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900	%	54.3	103.980	%
		建物1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	241.945	千円	30.5	149.560	千円
		評価値			41.4		
品質評価の分布図							
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90660	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島地域総合センター(青島保育所)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	平成28年度に整備された施設であり、品質評価については平均点を上回っている。供給・財務評価については、定員を下回っており、平均点以下となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】クレーム点数【原因】新しい建物ではあるが、園庭の排水等に不具合が生じ、手直しが必要となったため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】月あたりの人数【原因】施設周辺の児童数が減少傾向にあったため、定員を下回っている。 ②【評価指標】定員充足率【原因】施設周辺の児童数が減少傾向にあるため。③【評価指標】市負担額前年度比【原因】定員を満たしていないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】定員を満たしていないため。 ②【評価指標】利用料当たりの市負担額【原因】定員を満たしていないため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣、市全体に民間が運営している同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市青島駅西口駐車場、青島水防倉庫、宮崎市消防団青島分団第2部消防団車庫、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、宮崎市消防団青島分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団旧青島分団第6部消防団車庫	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	青島小学校、内海小学校、青島中学校	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海保育園、青島幼稚園	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所及び指定緊急避難場所(避難ビル)	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	青島バイパス沿いに位置しており、送迎の利便性は高い。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替え時期】2090年代 【建て替えの事業費(概算)】2.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90660	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島地域総合センター(青島保育所)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	平成28年度に新設した施設であり、当面現状どおりとする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	日常的に施設の状況確認を行い、不具合箇所については必要に応じて修繕を行っている。今後も不具合箇所の早期発見に努めると共に、多額の修繕更新費を要することのないよう、計画的な改善計画を立て、修繕更新費の削減及び施設の長寿命化に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	利用者が定員に満たない状況ではあるが、平成28年度に新設した施設であるため、機能は「継続」とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	保育に係る費用については、入所児童に対する保育の質の維持向上のため、削減は困難である。そのため、保育に影響のない範囲で、光熱水費など可能な部分の節減に努め、市負担額の削減を図る。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4460	3.利用用途別分類	その他施設							
2.施設名	白浜海水浴場(便所・倉庫)	4.利用圏域別分類	広域・市域							
5.所在地(町名・番地)	折生迫7118-1	15.設置根拠法令								
6.バス停	白浜海水浴場(10m)	16.設置条例								
7.開設年月日	平成27年3月26日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観								
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	海水浴場の開設に必要なとなる休憩棟やごみ置場、足洗い場などの資材を、海水浴場開設期間以外の時期に保管するための倉庫および海水浴場来場者のためのトイレを設置した。		19. 内部							
13.主な利用者	市民、観光客(海水浴客)		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m						
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無						
22. 土地情報	土地面積	122.80 m ²				総延床面積	77.08 m ²			
	現況地目	その他				取得価額計(開始時簿価計)	15298千円 (—)			
	土地所有形態	借受				階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造			
	借受面積	122.80 m ²				24. 建物情報	建築年(主たる建物)	1979年		
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		—	前年比%	—	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²				
	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	未対応				
—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,468	96.1	1,528	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	718	92.3	778	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	1,468	96.1	1,528	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	16	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,468	96.1	1,528	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	観光戦略課		33.施設主管課	観光戦略課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4460	3.利用用途別分類	その他施設
2.施設名	白浜海水浴場(便所・倉庫)	4.利用圏域別分類	広域・市域

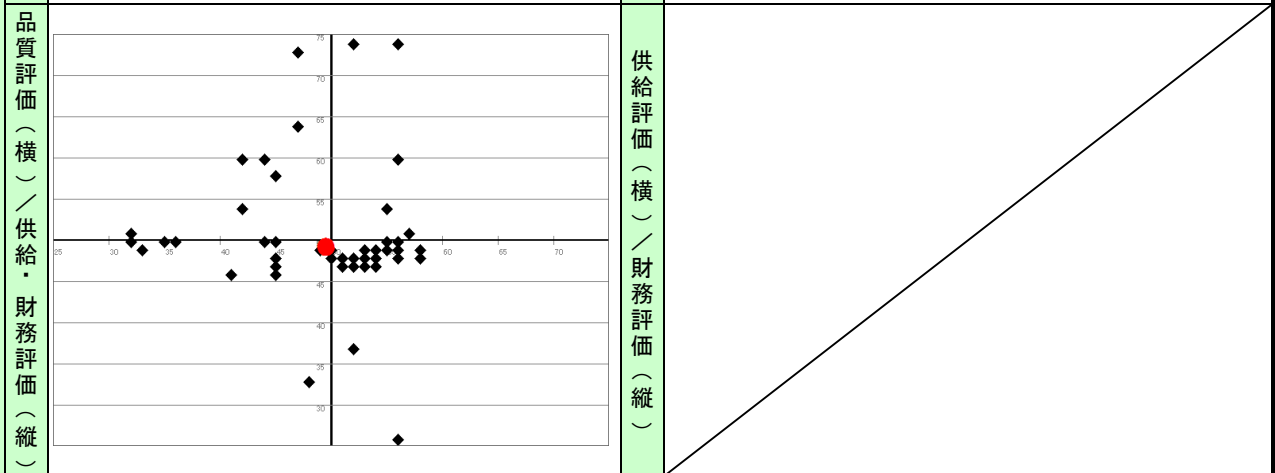
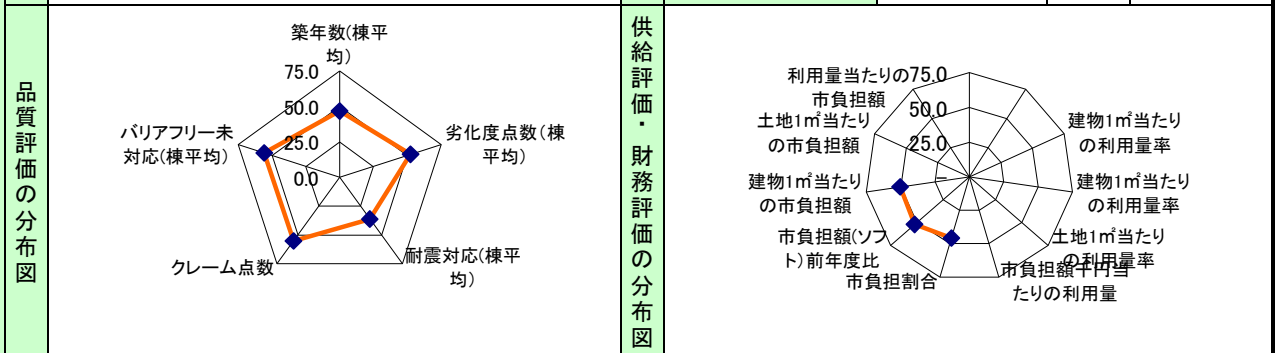
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D
	品質評価の評価(偏差値)	49.3
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	49.5

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	34.100 年	46.7	29.900 年
		劣化度数(棟平均)	1.000 件	52.5	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	4.000 点	36.2	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		49.3	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		建物1㎡当たりの利用量率		人	人
		建物1㎡当たりの利用量率		台	台
		土地1㎡当たりの利用量率		人	人
		市負担額千円当たりの利用量			
		評価値		#DIV/0!	

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	45.8	80.724 %
		市負担額(ソフト)前年度比	97.100 %	52.2	103.480 %
		建物1㎡当たりの市負担額	24.623 千円	50.4	28.276 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			千円
		利用量当たりの市負担額			千円
		評価値		49.5	



(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4460	利用用途別分類	その他施設
施設名	白浜海水浴場(便所・倉庫)	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点未満、財務評価は平均点以上となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数(棟平均)の評価が低い。 【原因】建物が古い。 【評価指標】耐震対応(棟平均)が低い。 【原因】耐震補強をしていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合、建物1㎡あたりの市負担額の評価が低い。 【原因】収入源がないため、全て市の負担となっている。また、平成26年度にトイレの新築工事も行っているため、支出は増えている。(年度ごとに修繕の有無が異なるため、支出の変化は生じる)	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣、市全体に同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	白浜オートキャンプ場	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市青島ビーチセンター	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	サンビーチーツ葉	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	青島バイパスから青島街道を3km程度南進し、白浜方面へ2km程度進む必要がある。施設前には、バスの停留所がある。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建替の時期】2020-2060年代 【建替の事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度	
台帳番号	4460	利用用途別分類	その他施設
施設名	白浜海水浴場(便所・倉庫)	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の最適化」の取組として、建物は将来の修繕更新費用を削減するために、計画的な修繕に取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	平成26年度にトイレの新築工事を行っており、品質評価については平均点以上になると思われる。本施設が設置されている白浜海岸は、海水浴はもとより、サーフィンやフィッシングなどマリンスポーツに適したスポットであり、その衛生面や利便性の確保のために必要な施設である。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	計画的な修繕に取り組む。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	白浜海水浴場は倉庫とトイレの二つの建物がある。倉庫は海水浴場の収納庫になっており、海水浴場を開設し続ける以上、継続して設置する必要がある。また、トイレについても、海水浴場来場者及び海岸利用者のためのトイレとして設置していることから、引き続き継続していく必要がある。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	計画的な修繕を行う。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90400				3.利用用途別分類	その他施設					
2.施設名	青島参道南広場				4.利用圏域別分類	広域・市域					
5.所在地(町名・番地)	青島二丁目207				15.設置根拠法令						
6.バス停					16.設置条例	宮崎市都市公園以外の公園に関する条例					
7.開設年月日	平成26年8月16日				17.市の計画	施設のあり方を検討中					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者((一財)みやざき公園協会)				18. 外観						
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和07年3月31日										
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	県有地である国民宿舎跡地を無償で借り受け、多目的広場や駐車場、イベントステージ等として整備された。ただし、公共施設であるため、他者を排除するような利用については不可としている。					19. 内部					
											
13.主な利用者	市民、観光客				20.避難所の指定(標高)	— 6.00 m					
14.利用者駐車可能台数	47台				21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	0.00 m ²				24. 建物情報	総延床面積	23.25 m ²			
	現況地目						取得価額計(開始時簿価計)	13639千円 (—)			
	土地所有形態	借受					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2013年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度			法定点検(主たる建物)	未対象			
		—	前年比%	—	前年比%		建物所有状況	市有物件			
	—	—	—	—	借受面積		0.00 m ²				
	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)		対応済				
—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²						
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度			26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		976	130.1	750	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト		226	—	0	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト		0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト		750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	5,052	99.8	5,061	—	指定管理者の支出計⑨		4,795	89.3	5,367	—
	指定管理料⑥	5,052	99.8	5,061	—	施設のコスト		2,018	81.9	2,464	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト		0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト		119	150.6	79	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	2,658	94.1	2,824	—		
収入合計⑦	5,052	99.8	5,061	—	支出合計⑩	5,771	94.3	6,117	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—				28.工事請負費・修繕費	226 — 0					
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0				31. 市 市 負担額⑪ (⑧-①+⑥)	6,028 103.7 5,811					
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	257 △ 84.0 △ 306				市 負担割合(%) (⑪÷⑩)	104 110.0 95					
32.施設所管課	観光戦略課				33.施設主管課	観光戦略課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90400	3.利用用途別分類	その他施設
2.施設名	青島参道南広場	4.利用圏域別分類	広域・市域

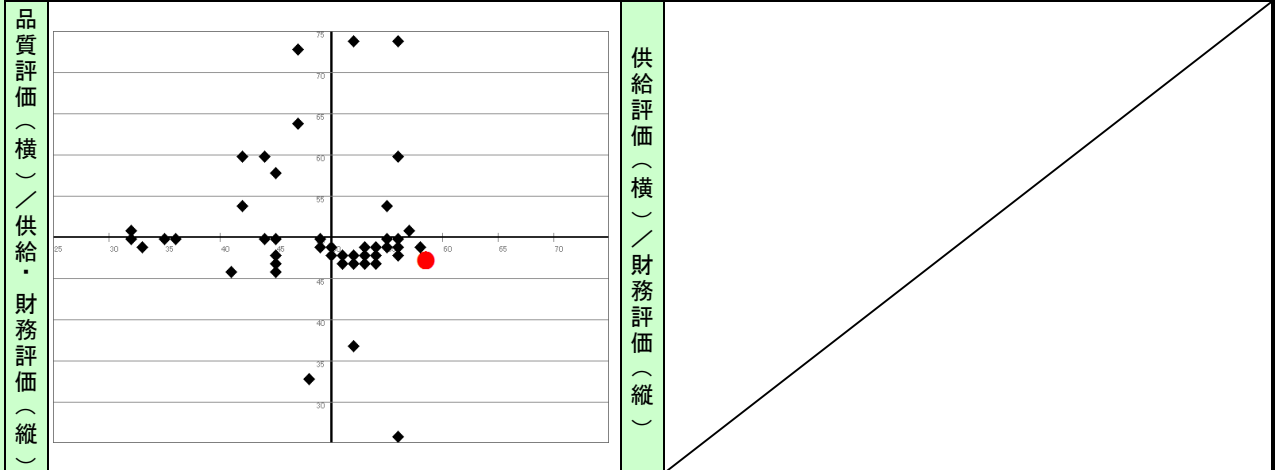
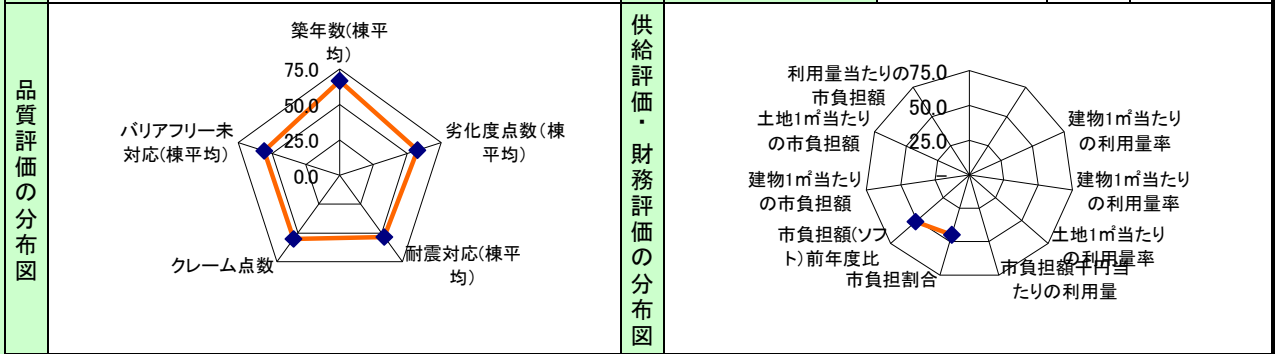
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	C
	品質評価の評価(偏差値)	57.7
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	48.1

① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	9.000 年	66.6	29.900 年
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		57.7	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量			
		評価値		#DIV/0!	

③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			市負担割合	104.450 %	44.9	80.724 %
			市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	51.3	103.480 %
			建物1㎡当たりの市負担額			
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額			
			評価値		48.1	



(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90400	利用用途別分類	その他施設
施設名	青島参道南広場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	収入源がないため、財務評価が平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合の評価が低い。 【原因】収入源がないため、全て市の負担となっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣、市全体に同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市青島ビーチセンター	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	各公園施設	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	青島バイパスから青島街道を1km程度南進した位置にあり、青島駅から徒歩10程度で着くなど交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建替の時期】2090年代 【建替の事業費(概算)】800万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90400	利用用途別分類	その他施設
施設名	青島参道南広場	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕更新費用を削減するために、計画的な保全に取り組む。 機能の評価は「継続」とし、「質の向上」の取組として、市負担額を削減するため維持管理について仕様書を見直し、芝刈り回数の削減を検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	平成26年度に新設した施設であり、特に施設自体に問題がないため。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	計画的な保全に取り組む。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	類似の公園施設は民間になく、集約や廃止等は困難であるが、持続的なサービスを継続するため、市負担額の削減に取り組む。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	維持管理費について、仕様書の見直しを行い、芝刈り回数の削減を検討する。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4470	3.利用用途別分類	保養観光施設		
2.施設名	宮崎市青島ビーチセンター	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	青島二丁目233番地	15.設置根拠法令			
6.バス停	青島(160m)	16.設置条例	宮崎市青島ビーチセンター条例		
7.開設年月日	平成08年3月22日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(渚の交番青島プロジェクト実行委員会)	18. 外観			
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和05年3月31日				
10.用途地域	近隣商業地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	夏季のみ開設していた海水浴場管理棟を改修し、「海岸利用者の利便性向上と観光及び地域の振興」のための拠点施設として位置付け、平成24年度からは、通年の開設としている。また、青島海水浴場倉庫は、県の青島海岸護岸整備事業に併せ、既存の海水浴場資材倉庫を平成11年3月に再整備したもので、貸し出し用の休憩テントなどの備品を保管する施設である。		19. 内部		
					
13.主な利用者	市民、観光客	20.避難所の指定(標高)	— 6.00 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	1,664.59 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有(一部借受)			
	借受面積	342.61 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	10,031	68.8	14,580	—
	開館日数	316	100.3	315	—
	利用率	32	68.5	46	—
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	27	142.1	19	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	27	142.1	19	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	8,762	104.1	8,416	—
	指定管理料⑥	6,286	100.0	6,286	—
	利用料金収入	1,280	95.7	1,337	—
	自主事業収入	143	38.2	374	—
その他収入	1,053	251.3	419	—	
収入合計⑦	8,789	104.2	8,435	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,503	116.5	2,149	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 118	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	945	77.3	1,223	—
	施設のコスト	195	41.2	473	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	8,880	105.5	8,416	—
	施設のコスト	1,050	111.2	944	—
	自主事業以外のコスト	411	68.8	597	—
	自主事業のコスト	118	107.3	110	—
人に係るコスト	7,301	107.9	6,765	—	
支出合計⑩	9,825	101.9	9,639	—	
28.工事請負費・修繕費	187	40.2	465	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	7,204	96.2	7,490	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	73	94.4	78	—	
32.施設所管課	観光戦略課	33.施設主管課	観光戦略課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4470	3.利用用途別分類	保養観光施設
2.施設名	宮崎市青島ビーチセンター	4.利用圏域別分類	広域・市域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	C					
	品質評価の評価(偏差値)	54.3					
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	43.4					
① 品質評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	25.300	年	53.6	29.900	年
		劣化度数(棟平均)	0.000	件	57.5	1.500	件
		耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
		クレーム点数	5.000	点	55.2	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.500	件	51.7	0.700	件
	評価値	54.3					
② 供給評価	利用量率の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	32.000	人	39.5	262.000	人
		建物1㎡当たりの利用量率	0.074	人	41.6	0.402	人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	1.392		44.2	38.309	
	評価値	41.8					
③ 財務評価	市負担割合の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		市負担割合	73.320	%	33.6	33.720	%
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900	%	54.9	128.392	%
		建物1㎡当たりの市負担額	16.891	千円	48.0	14.289	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.718	千円	43.0	0.428	千円
	評価値	44.9					
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図					
				品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4470	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市青島ビーチセンター	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は、青島海水浴場管理棟が建設されてから築25年経っているが、平成21年度に全面的に改修しているため、平均点以上となっている。供給評価・財政評価は、夏季以外の利用者が少ないため、平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数の評価が低い。建物1㎡あたりの利用量率の評価が低い。市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。 【原因】夏季以外の利用者が少ない。また、令和元年度より利用者数算定方針を見直し、併設するビーチパークや海水浴場利用者数を含めていないために施設自体の利用者は少なくなった。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、建物1㎡あたり市負担額、利用料当たりの市負担額の評価が低い。 【原因】コインロッカーやコインシャワー、手荷物預かり、自動販売機手数料として、利用料金を徴収しているものの、利用する主な時期が海水浴場シーズンであることから、収益には限界がある。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市内に同じ利用用途の施設として、白浜海水浴場、サンビーチーツ葉がある。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	青島参道南広場	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	白浜海水浴場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	サンビーチーツ葉	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	JR日南線青島駅から徒歩5分、宮崎交通バス青島バス停から徒歩2分、宮崎道宮崎ICより車で20分、宮崎空港より車で15分、宮崎港より車で20分となっており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建替えの時期】2040年代 【建替えの事業費(概算)】1.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	当該施設は日本財団の助成を受け、全国初で「渚の交番」プロジェクトを展開している施設である。これを受け、静岡県御前崎市など他の自治体も同プロジェクトを導入している。市としては施設の維持管理に要する費用の負担を行っているが、指定管理者についてはこれに留まらず、自主事業として観光案内所としての役割など青島における地域活動の拠点として幅広い活用が図られている。	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4470	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市青島ビーチセンター	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の適正化」の取り組みとして、建物は、海浜地区に位置する施設の立地の性質から将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な改築修繕に取り組む。 機能の評価は「継続」とし、「質の向上」として、利用料金の収入源であるシャワーやロッカーの修繕を積極的に行うことにより施設利用者数の向上を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	青島ビーチセンターについては、平成8年に整備し、これまで適宜、維持補修を行ってきたが、平成22年度に日本財団から改修費用の全額補助を受けリニューアルしており、特に施設自体に問題はないため。 今後、計画的な改築修繕に取り組む。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	今後、指定管理者による計画的な修繕更新を行うことで市負担額の削減に取り組む。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	施設は夏季の間は海水浴場の監視塔として機能しており、それ以外の期間は海水浴場の備品倉庫であったり、修学旅行生の受け入れを行うなどして利用している。計画的な修繕を行いサービスの維持を図っているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の維持管理に要する経費のうち、大半は人件費であることに加え、指定管理者の収入源である利用料金はシャワーやロッカー、自主事業などに限られているため削減は難しい状況にあるが、今後計画的な修繕を行い、利用料金収入を増加させる取り組みを行い市負担軽減を図る。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4580	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	野島川河川プール(管理棟)	4.利用圏域別分類	地区		
5.所在地(町名・番地)	内海4102-3	15.設置根拠法令			
6.バス停	野島公民館前(300m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成10年3月27日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	H7年に地元から「自然を活かした河川プールの設置要望」がありH10年に整備。自然河川利用のプールは市内でも珍しく地元住民のふれあいの場となっている。開設期間は例年7月中旬～8月下旬で、直近の利用者数はH30:2,148人、R1:2,145人、R3:828人で地区外からの利用者も多い。(新型コロナの状況によりR2開設なし、R3は開設期間短縮)施設は男女トイレ(更衣室兼用)、シャワー2基を設けている。		19. 内部		
					
13.主な利用者	野島・内海地区内児童等	20.避難所の指定(標高)	—	6.90 m	
14.利用者駐車可能台数	3台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	16.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	828	—	—	—
	開館日数	13	—	—	—
	利用率	64	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	16.80 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	7560千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1998年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,179	150.0	786	—
	施設のコスト	226	627.8	36	—
	事業のコスト	203	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,179	150.0	786	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,179	150.0	786	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	土木課	33.施設主管課	土木課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4580	3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	野島川河川プール(管理棟)	4.利用圏域別分類	地区			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満					
	品質評価の評価(偏差値)					49.4
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)					-
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	24.000 年	54.7	29.900 年
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.5	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	30.9	0.700 件
			評価値	49.4		
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	64.000 人	-	- 人
			建物1㎡当たりの利用量率	3.791 人	-	- 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.702	-	-
			評価値	-		
③財務評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	149.100 %	-	- %
			建物1㎡当たりの市負担額	70.179 千円	-	- 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	1.424 千円	-	- 千円
			評価値	-		
品質評価の分布図						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4580	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	野島川河川プール(管理棟)	利用圏域別分類	地区
1	基礎評価の分析(総括)	バリアフリー未対応の評価が低いため、品質評価が低い。	
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】車いす使用者が円滑に使用することができる便所が設けられていない。車いす使用者用駐車施設が設けられていない。視覚障害者のための誘導用床材等が出入口周辺や階段等に設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	自然の河川を利用した水浴・水泳施設であり、プール槽や遊具等の設備は設置されていない。自然と触れ合う場所としての機能を有する。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市消防団青島分団第5部消防団車庫	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道220号線沿線、野島公民館前バス停から300m程度北進した場所に位置している。最寄りのバス停から一定の距離があるなど、交通事情は良好とは言えない。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島)地区(大字内海) 【現在の地区人口】880人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】700万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4580	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	野島川河川プール(管理棟)	利用圏域別分類	地区
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために定期的に近接目視を行い、最小限の維持管理、修繕等を行っていく。機能の評価は「継続」とし、今後も子ども達が自然と触れ合える場所としての機能を維持していく。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	野島川河川プール管理棟は、建築後24年経っており、内壁に軽微なひびが一部見られるものの、基礎や外壁にはひび割れや剥落ち・欠け等もなく、施設としては良好な状態を保っている。このため、現在の建物は継続とし、3～5年程度は現状どおり適切な維持管理を行っていく。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	平成29年度に外壁の塗装工事を実施し、その際に行った外壁の点検においてもひび割れや剥落ち・欠け等もなく、施設としては良好な状態を保っている。今後もプール開設前及び閉設後に目視点検等を定期的に行うことで、最小限の修繕にとどめ、適切な維持管理を行っていく。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	内海地区における住民の憩いの場や子どもたちが自然と触れ合う場として機能していることや、開設期間である7月中旬から8月下旬の約1ヶ月間で令和元年度は約2,100人(新型コロナウイルス感染症の状況により開設期間に影響がなかった直近年度の利用者数)が利用しており、施設としては有効に活用されていることから、機能は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	プール監視員については会計年度任用職員として雇用(委託の場合は警備業務事業者への委託が必要)、受付業務についても地域の運営委員会に委託し、委託料は本市の会計年度任用職員の賃金を基にプール開設日数実績により算定するなど、最小限の費用で運営している。また、電話や上水道は開設期間のみの契約としているほか、管理棟内の電気についても更なる節電に努めていく。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	7890				3.利用用途別分類	その他施設					
2.施設名	宮崎市青島駅西口駐車場				4.利用圏域別分類	広域・市域					
5.所在地(町名・番地)	青島西二丁目14				15.設置根拠法令	駐車場法					
6.バス停	青島(290m)				16.設置条例	宮崎市駐車場条例					
7.開設年月日	平成09年5月1日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	委託				18. 外観						
9.指定管理期間											
10.用途地域	第二種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	青島地域の住民や観光客の駐車場の需要に対応するために設置した。				19. 内部						
											
13.主な利用者	市民、観光客				20.避難所の指定(標高)	— 4.60 m					
14.利用者駐車可能台数	41台				21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	5,228.14 ㎡				24. 建物情報	総延床面積	40.50 ㎡			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	18231千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 ㎡					建築年(主たる建物)	1997年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		台	前年比%	台	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用台数2	4,000	100.0	4,000	—	借受面積	0.00 ㎡				
	開場日数	365	108.0	338	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
日あたり利用台数	11	93.2	12	—	未利用スペース	0 ㎡					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,341	99.8	1,344	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	591	99.5	594	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	1,341	99.8	1,344	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—				28.工事請負費・修繕費	0 — 0					
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0				31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,341 99.8 1,344					
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0				市 負担割合(%) (⑪÷⑩)	100 100.0 100					
32.施設所管課	公園緑地課				33.施設主管課	公園緑地課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	7890	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				C		
	品質評価の評価(偏差値)				50.2		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				42.1		
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	25.000 年	53.9	29.900 年	
			劣化度数(棟平均)	5.000 件	32.5	1.500 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件	
			評価値	50.2			
②供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
			日あたり利用台数	11.000 台	42.6	213.000 台	
			建物1㎡当たりの利用量率				人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.271 台	46.7	0.376 台	
			土地1㎡当たりの利用量率				人
			市負担額千円当たりの利用量	2.983	42.3	76.170	
			評価値	43.9			
③財務評価	市負担割合の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	36.0	39.130 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	50.8	104.100 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	33.111 千円	38.3	17.264 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				千円
			利用量当たりの市負担額	0.335 千円	36.0	0.134 千円	
			評価値	40.3			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	7890	利用用途別分類 その他施設
施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は平均点以上、供給評価・財務評価は平均点以下である。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指数】日あたり利用台数 【原因】立地によるもの。 【評価指数】建物1㎡当たりの利用量率 【原因】立地によるもの。 【評価指数】市負担額千円当たりの利用量率 【原因】立地によるもの。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指数】市負担割合 【原因】無料施設のため。 【評価指数】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】無料施設のため。 【指数評価】利用量当たりの市負担額 【原因】無料施設のため。
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似の公共施設や民間施設がある。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	青島地域総合センター(宮崎市青島地区交流センター)、青島地域総合センター(青島地域センター)、青島地域 総合センター(青島保育所)、青島シーガル街区公園、青島歴史文化の広場、宮崎市南消防署青島出張所、松 添街区公園、宮崎市青島ビーチセンター、青島水防倉庫、宮崎市消防団青島分団第2部消防団車庫、青島参 道南広場、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、宮崎市消防団青島分団第1部 消防団車庫、宮崎市消防団旧青島分団第6部消防団車庫
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	青島駅東口駐車場、田野駅前広場、宮崎市橘通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)、宮崎市上野町駐車 場
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	MRTパーキング、山形屋駐車場、カリーノ宮崎駐車場、タイムズ宮崎ナナイロ、コージーパーキング ほか
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	JR青島駅の西側に隣接しており、国道220号線青島バイパスの下り口から約1km程南進した位置に あるため、交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	その他勘案すべき点はない。

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	7890	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じて保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、機能を保持できる最低限の維持管理に留め、維持管理費を削減する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じた保全に取り組む。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	青島地区の将来的な駐車場不足を解消するために用地を取得し整備された施設であり、「青島地域の活性化」に資するため継続して保有している。しかしながら、周辺地域への駐車場の新設や市街化の鈍化等により想定した本施設の需要は得られておらず、利用者数は極めて少ない状態で推移している。したがって、施設の保持は継続するものの、最低限の維持管理に留めて管理経費の削減に取り組む。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	引き続き広場部分を駐車場部分と切り離して管理を行うことで、経費の削減を図る。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4880	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	青島中学校	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	折生迫4828	15.設置根拠法令	学校教育法、中学校設置基準								
6.バス停	青島中入口(270m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例								
7.開設年月日	昭和22年5月8日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和22年設置。現在の校舎等は主に昭和40～41年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。平成元年に大規模改修を行った。平成24年には屋上への非難階段を設置した。屋内運動場は、平成8年建築の鉄骨造平屋建。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には山林や漁港がある。近年の生徒数は横ばい傾向にある。										
13.主な利用者	生徒	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	6.10 m							
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	16,320.59 m ²				24.建物情報	総延床面積	3,701.54 m ²			
	現況地目	学校用地					取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1965年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度			法定点検(主たる建物)	対象			
		人	前年比%	人	前年比%		建物所有状況	市有物件			
	生徒数	52	115.6	45	—		借受面積	0.00 m ²			
	利用率	—	—	—	—		耐震対応(主たる建物)	対応済			
						未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	159	1987.5	8	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	46,497	130.5	35,625	—
	使用料(減免後)②	0	0.0	3	—		施設のコスト	39,544	137.9	28,672	—
	その他③	159	3180.0	5	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	6,953	100.0	6,953	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	159	1987.5	8	—	支出合計⑩	46,497	130.5	35,625	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	19,279	196.0	9,835	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	159	1987.5	8	—	31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	46,338	130.1	35,617	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	99.7	100	—		
32.施設所管課	学校施設課				33.施設主管課	学校施設課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4880	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	青島中学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		49.5		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		35.6		
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	45.600 年	37.5	29.900 年
		劣化度数点(棟平均)	0.700 件	54.0	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
バリアフリー未対応(棟平均)	0.200 件	54.2	0.700 件		
		評価値	49.5		
② 供給評価	利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		生徒数	52.000 人	33.8	447.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
市負担額千円当たりの利用量	0.001	33.9	0.009		
		評価値	33.9		
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.660 %	45.1	98.129 %
		市負担額(ソフト)前年度比	105.000 %	35.0	80.065 %
		建物1㎡当たりの市負担額	12.519 千円	46.7	9.651 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
利用量当たりの市負担額	891.115 千円	21.8	195.468 千円		
		評価値	37.2		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	4880	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	青島中学校	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和40～41年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、生徒数が少ないため供給評価が低く、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】一部の校舎の築年数が55年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	①【評価指標】利用率、市負担額千円当たりの利用量【原因】生徒数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	①【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たりの市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】生徒数が少ないため。
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立中学校が1校及び私立中学校が6校設置されている。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	青島小学校、青島小学校(給食室)、青島中学校(給食室)、宮崎市消防団青島分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、城山公園、宮崎白浜オートキャンプ場、城山公園
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内海やっこ荘、青島小学校、内海小学校、青島中学校(給食室)、青島小学校(給食室)、内海小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道内海加江田線(旧国道220号)白浜入口交差点を南へ約240m地点の交差点(三叉路)を西へ約300mの青島小から南へ約350mのところのところに位置し、最寄のバス停留所は、「青島中入口」。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】10.7億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	4880	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島中学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	5010				3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設					
2.施設名	青島小学校				4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	青島五丁目12-17				15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準					
6.バス停	青島小前(30m)				16.設置条例	宮崎市立学校条例					
7.開設年月日	明治33年7月25日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	直営				18.外観						
9.指定管理期間						19.内部					
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	明治33年創立。現在の校舎等は主に昭和45～57年建築の鉄筋コンクリート造2階建である。南校舎には平成24年に屋上への非難階段を設置した。屋内運動場は、昭和47年建築の鉄骨造平屋建で老朽化が進んでいる。通学区域に漁港や区画整理した住宅地等がある。近年の児童数は横ばい傾向にある。										
13.主な利用者	児童				20.避難所の指定(標高)	— 6.40 m					
14.利用者駐車可能台数	0台				21.投票所の指定	無					
22.土地情報	土地面積	13,109.53 ㎡				24.建物情報	総延床面積	3,367.50 ㎡			
	現況地目	学校用地					取得価額計(開始時簿価計)	5355千円 (—)			
	土地所有形態						階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 ㎡					建築年(主たる建物)	1982年			
23.利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	生徒数	138	91.4	151	—	借受面積	0.00 ㎡				
	利用率	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
					未利用スペース	0 ㎡					
25.収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26.支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	206	542.1	38	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	34,609	60.2	57,537	—
	使用料(減免後)②	0	0.0	3	—		施設のコスト	25,756	52.9	48,684	—
	その他③	206	588.6	35	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	8,853	100.0	8,853	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	206	542.1	38	—	支出合計⑩	34,609	60.2	57,537	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		0		—	28.工事請負費・修繕費	6,003	23.5	25,593	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	206	542.1	38	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	34,403	59.8	57,499	—		
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	99.5	100	—		
32.施設所管課	学校施設課				33.施設主管課	学校施設課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5010	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	青島小学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		48.9		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		42.7		
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	44.700 年	38.3	29.900 年
		劣化度数点(棟平均)	1.100 件	52.0	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
バリアフリー未対応(棟平均)	0.400 件	52.5	0.700 件		
		評価値	48.9		
② 供給評価	利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		生徒数	138.000 人	37.3	447.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
市負担額千円当たりの利用量	0.004	39.7	0.009		
		評価値	38.5		
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.400 %	45.9	98.129 %
		市負担額(ソフト)前年度比	89.000 %	44.6	80.065 %
		建物1㎡当たりの市負担額	10.216 千円	49.3	9.651 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
利用量当たりの市負担額	249.297 千円	47.8	195.468 千円		
		評価値	46.9		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	5010	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	青島小学校	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和45～57年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、児童数が少ないため供給評価が低く、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】一部の校舎及び屋内運動場の築年数が50年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	①【評価指標】利用率、市負担額千円当たりの利用量【原因】児童数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	①【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たりの市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】児童数が少ないため。
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立中学校が1校及び私立中学校が6校設置されている。
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	青島小学校(給食室)、青島中学校、青島中学校(給食室)、宮崎市消防団青島分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、城山公園、宮崎白浜オートキャンプ場
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内海やっこ荘、青島中学校、内海小学校、青島中学校(給食室)、青島小学校(給食室)、内海小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道内海加江田線(旧国道220号)白浜入口交差点を南へ約240m地点の交差点(三叉路)を西へ約300mのところを位置し、最寄のバス停留所は、「青島小前」。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030-2090年代 【建て替えの事業費(概算)】9.7億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	5010	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	5320				3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設					
2.施設名	内海小学校				4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	内海1024				15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準					
6.バス停	内海港前(190m)				16.設置条例	宮崎市立学校条例					
7.開設年月日	明治34年5月12日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	直営				18. 外観						
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	明治34年設置。現在の校舎等は、平成16年に鉄筋コンクリート造2階建の地域・学校連携施設として改築した。屋内運動場は、昭和51年建築の鉄骨造平屋建で老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域に漁港や小さな集落が点在している。また校舎内に地域連携室が設置されている。				19. 内部						
13.主な利用者	児童					20.避難所の指定(標高)	指定避難所		3.40 m		
14.利用者駐車可能台数	0台					21.投票所の指定	有				
22. 土地情報	土地面積	6,884.15 m ²				24. 建物情報	総延床面積	2,768.07 m ²			
	現況地目	学校用地					取得価額計(開始時簿価計)	-			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2004年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	生徒数	16	123.1	13	-	借受面積	0.00 m ²				
	利用率	-	-	-	-	耐震対応(主たる建物)	対応済				
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	157	826.3	19	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	26,601	91.7	29,013	-
	使用料(減免後)②	0	0.0	3	-		施設のコスト	19,648	114.5	17,160	-
	その他③	157	981.3	16	-		事業のコスト	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-		人に係るコスト	6,953	58.7	11,853	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-		指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-		施設のコスト	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-		自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	0	-	0	-		
収入合計⑦	157	826.3	19	-	支出合計⑩	26,601	91.7	29,013	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-				28.工事請負費・修繕費	2,708	86.2	3,141	-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	157	826.3	19	-	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	26,444	91.2	28,994	-		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	-	0	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	99.5	100	-		
32.施設所管課	学校施設課				33.施設主管課	学校施設課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5320	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	内海小学校	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																												
	品質評価の評価(偏差値)		53.1																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		32.6																												
① 品質評価	耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>23.600 年</td> <td>55.0</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.800 件</td> <td>53.5</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.700 点</td> <td>48.3</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.300 件</td> <td>53.3</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>53.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	23.600 年	55.0	29.900 年	劣化度数(棟平均)	0.800 件	53.5	1.500 件	耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.3	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.3	0.700 件	評価値		53.1	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	23.600 年	55.0	29.900 年																										
		劣化度数(棟平均)	0.800 件	53.5	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.3	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.3	0.700 件																												
評価値		53.1																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>16.000 人</td> <td>32.3</td> <td>447.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.001</td> <td>32.8</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>32.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	生徒数	16.000 人	32.3	447.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.001	32.8	0.009	評価値		32.6			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
生徒数	16.000 人	32.3	447.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.001	32.8	0.009																												
評価値		32.6																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>99.410 %</td> <td>45.9</td> <td>98.129 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>91.800 %</td> <td>42.9</td> <td>80.065 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>9.553 千円</td> <td>50.1</td> <td>9.651 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1,652.750 千円</td> <td>-9.1</td> <td>195.468 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>32.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	99.410 %	45.9	98.129 %	市負担額(ソフト)前年度比	91.800 %	42.9	80.065 %	建物1㎡当たりの市負担額	9.553 千円	50.1	9.651 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1,652.750 千円	-9.1	195.468 千円	評価値		32.5			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	99.410 %	45.9	98.129 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	91.800 %	42.9	80.065 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	9.553 千円	50.1	9.651 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	1,652.750 千円	-9.1	195.468 千円																												
評価値		32.5																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	5320	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	内海小学校	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	平成16年に建設された施設であるが、小規模の建物を耐震診断を行っていないため品質評価が低い。また、児童数が少ないため供給評価が低く、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】利用率、市負担額千円当たりの利用量 【原因】児童数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比、利用量当たりの市負担額 【原因】児童数が少ないため。
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、県立中学校が1校及び私立中学校が6校設置されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	内海小学校(給食室)、宮崎市消防団青島分団第4部消防団車庫、内海やっこ荘
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海やっこ荘、青島中学校、青島小学校、青島中学校(給食室)、青島小学校(給食室)、内海小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道220号内海バイパスから南へ約300mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「内海港前」。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2020-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】8億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	5320	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	内海小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和4年度

1.台帳番号	9210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	青島中学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	折生迫4828	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	青島中入口(260m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成13年10月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。平成19年度から調理等は、民間に委託。				
					
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 6.10 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	158.00 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	70	111.1	63	—
	開館日数	189	105.0	180	—
	利用率	0	100.0	0	—
24. 建物情報	総延床面積	158.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	36309千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2001年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	8,806	115.8	7,602	—
	施設のコスト	2,903	170.6	1,702	—
	事業のコスト	5,121	100.1	5,118	—
	人に係るコスト	782	100.0	782	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	8,806	115.8	7,602	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	666	482.6	138	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	8,806	115.8	7,602	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	保健給食課	33.施設主管課	保健給食課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	青島中学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				C	
	品質評価の評価(偏差値)				52.4	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				41.7	
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	20.000 年	57.9	29.900 年
			劣化度数(棟平均)	3.000 件	42.5	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
			評価値	52.4		
②供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			利用量率	0.000 人・食	41.3	3.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用量率	0.002 人	34.8	0.012 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.008	34.1	0.025
			評価値	36.7		
③財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	109.100 %	45.4	102.772 %
			建物1㎡当たりの市負担額	55.734 千円	60.9	90.094 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	125.800 千円	33.7	53.860 千円
			評価値	46.7		
品質評価の分布図						
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)						

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	9210	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	青島中学校(給食室)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価の品質では平均を下回っている項目がある。食数は少ないが調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な運営を行っている。
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】外壁や天井、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】利用率【原因】食数が少ないため。 ②【評価指標】床面積1㎡当たりの利用率【原因】食数が少ないため。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】食数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	①【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】厨房機器更新(食器洗浄機更新)のため。 ②【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】厨房機器更新(食器洗浄機更新)のため。
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27配送校)が設置されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	青島小学校、青島小学校(給食室)、青島中学校(給食室)、宮崎市消防団青島分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、城山公園、宮崎白浜オートキャンプ場、城山公園
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海やっこ荘、青島小学校、内海小学校、青島中学校、青島小学校(給食室)、内海小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道内海加江田線(旧国道220号)白浜入口交差点を南へ約240m地点の交差点(三叉路)を西へ約300mの青島小から南へ約350mのところのところに位置し、最寄のバス停留所は、「青島中入口」。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.4億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	9210	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島中学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点を下回っている項目もあるが、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	食数が平均より少ないことや厨房機器の更新により、供給・財務は平均を下回っているが、調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な経営を行っている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の削減に努める。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	9320	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	青島小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	青島五丁目12-17	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法								
6.バス停	青島小前(70m)	16.設置条例									
7.開設年月日	平成16年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間			19. 内部								
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条										
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 6.40 m								
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	13,311.60 m ²				24. 建物情報	総延床面積	168.00 m ²			
	現況地目	学校用地				取得価額計(開始時簿価計)	42819千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	2004年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	158	92.9	170	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	196	106.5	184	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	1	88.9	1	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	20,915	98.5	21,242	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	1,112	67.1	1,656	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	1,081	123.4	876	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	18,722	100.1	18,710	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	20,915	98.5	21,242	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	479	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	20,915	98.5	21,242	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	保健給食課				33.施設主管課	保健給食課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9320	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	青島小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満					C
	品質評価の評価(偏差値)					55.5
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)					39.7
① 品質評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	17.000 年	60.2	29.900 年
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.5	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
			評価値	55.5		
② 供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			利用量率	1.000 人・食	42.5	3.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用量率	0.005 人	38.8	0.012 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.008	33.7	0.025
			評価値	38.3		
③ 財務評価	建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	100.700 %	51.5	102.772 %
			建物1㎡当たりの市負担額	124.494 千円	39.1	90.094 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	132.373 千円	32.3	53.860 千円
			評価値	41.0		
品質評価の分布図						
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)						

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	9320	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	青島小学校(給食室)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価の品質では平均以上となっているが、食数が少なくまた、直営のため供給・財務は平均を下回っている項目がある。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】利用率【原因】食数が少ないため。 ②【評価指標】床面積1㎡当たりの利用率【原因】食数が少ないため。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】食数が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】直営の施設のため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】直営の施設のため。
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27配送校)が設置されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	青島小学校、青島中学校、青島中学校(給食室)、宮崎市消防団青島分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団青島分団第6部消防団車庫、宮崎市幼稚仔育成施設、城山公園、宮崎白浜オートキャンプ場
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海やっこ荘、青島中学校、内海小学校、青島中学校(給食室)、青島小学校、内海小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道内海加江田線(旧国道220号)白浜入口交差点を南へ約240m地点の交差点(三叉路)を西へ約300mのところを位置し、最寄のバス停留所は、「青島小前」。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	9320	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	青島小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質では平均以上となっており、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	食数が少ないことにより、供給・財務は平均を下回っているが、調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な経営を行っている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の削減に努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和4年度

1.台帳番号	9470	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	内海小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	内海1024	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	内海港前(200m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成16年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。平成23年度から調理等は、民間に委託。				
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 3.40 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	158.00 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	25	104.2	24	—
	開館日数	200	110.5	181	—
	利用率	0	100.0	0	—
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	7,162	97.3	7,363	—
	施設のコスト	762	76.7	993	—
	事業のコスト	5,618	100.5	5,588	—
	人に係るコスト	782	100.0	782	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	7,162	97.3	7,363	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	0	0.0	275	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	7,162	97.3	7,363	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9470	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	内海小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				C	
	品質評価の評価(偏差値)				56.6	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				36.0	
① 品質評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	18.000 年	59.4	29.900 年
			劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
			評価値	56.6		
② 供給評価	利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			利用率	0.000 人・食	40.6	3.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用率	0.001 人	32.3	0.012 人
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.003	29.9	0.025
			評価値	34.3		
③ 財務評価	利用率当たりの市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	101.000 %	51.3	102.772 %
			建物1㎡当たりの市負担額	45.329 千円	64.2	90.094 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用率当たりの市負担額	286.480 千円	-2.6	53.860 千円
			評価値	37.6		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	9470	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	内海小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価の品質では平均以上となっているが、食数が少なく供給・財務は平均を下回っている項目がある。調理洗浄業務の民間委託を既に行っており効率的な運営を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】利用率【原因】食数が少ないため。 ②【評価指標】床面積1㎡当たりの利用率【原因】食数が少ないため。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】食数が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】食数が少ないため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27配送校)が設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	内海小学校、宮崎市消防団青島分団第4部消防団車庫、内海やっこ荘	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内海やっこ荘、青島中学校、青島小学校、青島中学校(給食室)、青島小学校(給食室)、内海小学校	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道220号内海バイパスから南へ約300mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「内海港前」。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】400,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(青島) 【現在の人口】3,595人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.4億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	9470	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	内海小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	食数が少ないことにより、供給・財務は平均を下回っているが、調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な経営を行っている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の削減に努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和4年度

1.台帳番号		2160		3.利用用途別分類		消防施設									
2.施設名		宮崎市南消防署青島出張所		4.利用圏域別分類		広域・市域									
5.所在地(町名・番地)		青島一丁目8-9		15.設置根拠法令		消防組織法									
6.バス停		青島パームビーチホテル(380m)		16.設置条例		宮崎市消防署組織規程									
7.開設年月日		平成09年12月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する									
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観											
9.指定管理期間															
10.用途地域		第二種住居地域			19. 内部										
11.財産区分		公用													
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		主に青島地区の住民の生命・身体・財産を守るため、消防・救助活動の拠点として設置した。													
13.主な利用者		市民及び消防局職員		20.避難所の指定(標高)		— 4.50 m									
14.利用者駐車可能台数		11台		21.投票所の指定		無									
22. 土地情報	土地面積	1,839.15 m ²				総延床面積		842.50 m ²							
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)		135450千円 (—)							
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)		地上2階・RC・鉄筋コンクリート							
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)		1998年							
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		24. 建物情報									
		—	前年比%	—	前年比%	法定点検(主たる建物)		対象							
	—	—	—	—	建物所有状況		市有物件								
	—	—	—	—	借受面積		0.00 m ²								
						耐震対応(主たる建物)		対応済							
						未利用スペース		0 m ²							
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度					
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%				
	市の収入計① (②+③)	49	104.3	47	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	107,856	97.6	110,550	—				
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	2,856	51.5	5,550	—				
	その他③	49	104.3	47	—		事業のコスト	0	—	0	—				
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	105,000	100.0	105,000	—				
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—				
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—				
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—				
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—				
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—						
収入合計⑦	49	104.3	47	—	支出合計⑩	107,856	97.6	110,550	—						
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		—		—		28.工事請負費・修繕費		276		13.8		2,004		—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		49		104.3		31. 市 市 負担額⑪ (⑧-①+⑥)		107,807		97.6		110,503		—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		0		—		市 負担割合(%) (⑪÷⑩)		100		100.0		100		—	
32.施設所管課		消防局・総務課		33.施設主管課		消防局・総務課									

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	2160	3.利用用途別分類	消防施設			
2.施設名	宮崎市南消防署青島出張所	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B			
	品質評価の評価(偏差値)		47.9			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.5			
① 品質評価	劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果				
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	24.000 年	54.7	29.900 年	
		劣化度数(棟平均)	6.000 件	27.5	1.500 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
		クレーム点数				
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件			
		評価値	47.9			
② 供給評価		指標の結果				
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		建物1㎡当たりの利用量率		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率		台		台
		土地1㎡当たりの利用量率		人		人
		市負担額千円当たりの利用量				
		評価値	#DIV/0!			
③ 財務評価		指標の結果				
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		市負担割合	99.950 %	56.9	99.963 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	99.100 %	56.3	99.608 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	127.961 千円	53.4	160.199 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
利用量当たりの市負担額						
		評価値	55.5			
品質評価の分布図						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)						

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	2160	利用用途別分類 消防施設
施設名	宮崎市南消防署青島出張所	利用圏域別分類 広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価では劣化度点数が極めて低くなっており、品質評価全体として平均値を下回っているが、財務評価は平均値を上回っている。以上のことから評価指数はB判定となっている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。】建物全体の老朽化の影響が出始めている。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	主に青島・内海・加江田を管轄する消防出張所である。また、消防組織法及び宮崎市消防署組織規定により、市内に同じ利用用途の消防出張所が配置されている。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団青島分団第2部消防団車庫、青島水防倉庫、青島海水浴場管理棟、松添街区公園、青島シーガル街区公園、宮崎市青島駅西口駐車場、青島歴史文化の広場、青島地域総合文化センター
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市消防庁舎(消防局・北消防署)、宮崎市北消防署東分署、宮崎市北消防署北部出張所、宮崎市北消防署西部出張所、宮崎市北消防署救急住吉出張所、宮崎市南消防署、宮崎市南消防署青島出張所、宮崎市南消防署中部出張所、宮崎市南消防署南部出張所
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	消防施設
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道377号線沿いに位置し、徒歩300m程度西進するとバス停留所がある。また、「こどもの国駅」や「青島駅」が半径約1キロ圏内にあるなど、交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(積算)】3.2億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	消防庁舎の長寿命化計画を策定しており保全的な観点から計画的に修繕更新を実施していく予定である。

(2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	2160	利用用途別分類	消防施設
施設名	宮崎市南消防署青島出張所	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、将来の修繕更新費用を削減し、長寿命化を目指すために計画的な保全に取り組む。また、機能の評価は「継続」とし、消防施設という性質上、機能の廃止・統合はできないため継続して住民サービスに取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	令和2年度に作成した「消防施設長寿命化計画」に従って計画的な改修を行っていき、現サービスの長期的な継続を目指す。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	計画的な修繕を行うことにより、施設の長寿命化を目指し、施設の更新期間を延ばして更新費用削減に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	消防施設という性質上、機能の廃止・統合は難しいため「継続」とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	節電・節水を行い、維持管理費の削減、使用量の適正化に取り組む。	